

国家資格

高圧ガス 販売主任者試験



販売は安全の一部だ

高圧ガスは、我が国のエネルギー供給・産業基盤の根幹を担っており、各種工場の稼働はもちろん、医療現場や公共インフラにおけるエネルギー供給の要として、多岐にわたる分野で活用されていることから、**今後も高い需要が期待できます。**

国家試験について	高圧法及びLP法関連の国家試験は、KHKが国及び都道府県から試験事務の委譲を受けて、毎年11月に全国一斉に実施しています。		国家試験の実施日	令和8年	11月8日	日
実施場所と受験料	区分	種類	書面申請	インターネット申請	実施場所	
	知事試験	第一種販売主任者 第二種販売主任者	9,000円 7,200円	8,500円 6,700円	47都道府県	
受験願書の入手方法	書面申請用受験願書は、7月上旬頃からKHK本支部、各都道府県試験事務所及び各都道府県高圧ガス担当窓口において配布しています。		インターネット申請用受験案内は、KHKのホームページからダウンロード可能となります。		受験願書の受付期間は、令和8年8月17日から、書面申請は8月31日まで、電子申請は9月2日17時までです。	

高圧ガス販売主任者試験とは？

この試験は、高圧ガス保安法の国家資格を取得するための資格試験です。

高圧ガス販売主任者の資格は、第一種及び第二種の2種類あります。

第一種・第二種の違い

第一種はLPガス以外の高圧ガスの販売を、第二種はLPガスの販売を対象としています。

それぞれ販売事業所において、保安の実務を含む統括的な業務を行う方に必要な資格です。なかでも第二種は、一般家庭用のLPガスの販売を行う際の消費者保安を統括するエキスパートである業務主任者となるために必要となる資格です。

キャリアアップにも役立ちます！

高圧ガスの販売にあたっては、法令上、保安の実務を含む統括的な業務を行う人が必要であり、第一種販売主任者及び第二種販売主任者は、その法定責任者に選任される上で必要な資格となっています。高圧ガスは、**我が国のエネルギー供給・産業基盤の根幹を担っており**、各種工場の稼働はもちろん、医療現場や公共インフラにおけるエネルギー供給の要として、**多岐にわたる分野で活用されていることから、今後も高い需要が期待**できます。活躍の場は非常に幅広く、就職の際に有利な資格であると言えます。



資格を取得した方の声



Aさん

この資格で保安のリーダーとして活躍できる！

先輩に受験を進められるまで資格の存在を知らなかったのですが、様々な分野で高圧ガスが使用されており、この資格を取得することで保安のリーダーとして活躍できることがわかり、驚きました。これまで文系の勉強が中心でガスについて知識のない自分でしたが、製造保安責任者と比べて勉強もしやすく、就職先も広がるという先輩のアドバイスもあり、第一種販売主任者の資格試験を受験することにしました。

”



Bさん

業務主任者に選任された！

漠然と地元で就職したいと考えていたときに、馴染み深い地域密着型のLPガス販売店の就職に有利と聞いて、第二種販売主任者の資格を取得しました。この資格を取得することでLPガスの保安のリーダーとして業務主任者に選任されるなど、キャリアアップにもつながるので、取得しておいてよかったと思いました。

”

年齢・学歴・経験に関係なく誰でも受験できます

受験案内書等
はこちらから

高圧ガス保安協会ホームページ <https://www.khk.or.jp/>

高圧ガス保安協会 または KHK

